



簿記入門と公会計

研修のねらい

複式簿記の基礎、財務諸表の見方、決算書を読みこなす能力を実践的に学ぶとともに、行政職員に求められるコスト意識や経営感覚を身につけます。また、地方公共団体の公会計制度についても学びます。



受講対象者

県職員：80人・各回40人

次のいずれかに該当する職員

- ・令和5年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員
- ・令和7年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員で、令和8年4月1日現在25歳以上の職員

市町村職員：80人・各回40人

主任級以下の職員



開催日時

①8/24(月)・8/25(火)

9:00~16:30

②12/21(月)・12/22(火)



備考

【県職員のみ】（昇任試験受験要件対象研修）

※受講後、レポート提出が必要です。



研修概要

関口経営事務所

講師 関口 康尚

1 日目

- ・簿記とは何か
- ・簿記での3つのルール
- ・勘定科目のグループ分け
- ・取引から仕訳の作業、元帳と試算表の作業
- ・精算表、貸借対照表、損益計算書の作成

2 日目

- ・貸借対照表の概要、分析
- ・損益計算書の概要、分析
- ・公会計の概要
- ・財務4表の作成
- ・公会計の活かし方



こんな人におすすめ

- ・簿記や公会計に興味はあるけど、一步踏み出せない人
- ・なんとなく予算や決算を見ている自分を変えたい人
- ・行政に必要な経営感覚を磨きたい人



得られるスキル

- ・情報収集能力（決算書を読み取れる）
- ・分析力（数字の背景にある課題を見抜ける）



受講者の声

- ・簿記への苦手意識がなくなった
- ・講師のユーモアあふれる講義で、簿記や公会計の仕組みが楽しく理解できた
- ・難しい決算書や財務の話も、面白く実践的に学べて理解が深まった